

花まるたより

2025
111

Hanamaru
Monthly
Newsletter

高濱コラム



2025年11月

算数脳

9月にG1九州という会議がありました。日本版ダボス会議を目指してグローバルの堀義人代表が生み出されたG1サミットの地方部門です。私も12年前から参加しているのですが、メンバーがものすごい方ばかりでいつも学びに満ちています。さて、そのG1九州は熊本で開催されたのですが、250名ほどのなかにとっても嬉しい参加者がいました。福岡県行橋市の工藤政宏市長です。

花まる創業後、最初の6年くらいはほぼ私とアルバイト講師でまわしていたのですが、業績が頭打ちになったときに忽然と登場し、正社員として参画してくれた4人の仲間がいました。個人業から一気に「チーム」になり、俄然と会社のパワーがアップし一気に会員数も伸びたのです。その4人のうちの一人が大学新卒の工藤くんで、「私はいつか故郷である行橋市の市長になって教育改革をしたい。教育業界でいろいろな気になる教室や会社を見たいけれど、花まるで修行したいです。3年間学ばせてください!」と懇願してくるのです。最初はサマースクールのアルバイトリーダーとして参加してくれたのですが、夜道に瞳が輝く独特のオーラがあり即採用。コースバなど考慮しない情熱に満ちた大人数教室長でした。

修行のあとにもコツコツ地歩を固め、20年か

けて夢を実現し、既得権益陣営からのいやがらせや攻撃(?)もしのぎきって頑張っています。福岡市の高島市長はじめ、すごい市長さんたちに交じって一期目にして推薦されてG1に参加した姿には、親心というのが胸が熱くなる感じがしました。これからの市政の進化が楽しみです、応援しつついたいと思います。

さて、失われた30年という言葉に象徴されるように、世界二位の経済力を謳歌した日本は滑り落ちました。さらに世界は各地で戦争が勃発し混乱を極める一方です。そのような不確かで不安定なこれから生き抜くために、国家としてどのような方針を持つべきでしょうか。

個人と同じで「弱みも強みも正しく見る」ことがスタート。モラルの高さや思いやり、おもてなしの心、真面目さなど日本の教育が育んでいる素晴らしい伝統や成果は大事にしつつ、私が国家の柱にすべきと考えているのは「数理思考力」です。

江戸時代の和算や算額(問題と解答が書かれた絵馬・塵劫記(江戸時代の算術書)などに現れた数理思考力教育・文化水準は、世界でも最高水準でした。この力の蓄積は、庶民全体の読み書き算盤を支えた寺子屋とともに

に、明治維新以降、科学技術立国として繁栄する強力な土台となりました。国全体としてのしがらみというハングリー精神も相まってのちの世代に詰め込みと押入れされたようが、エリート層がきちんとハイレベルの学力を身につけていた時代であり、アカデミック(大学教授や研究者)が尊敬されていた時代に学んだ昭和生まれの世代からは、いまだに多くの医学・化学・物理学等理系のノーベル賞受賞者が生まれています。ゆとり世代以降の学力・経済力の地盤沈下は残念ですが、まだまだ継承しつつきてきた遺産ともいえるべき数理思考力に希望は残されています。江戸時代に源流を発するわが国のこの数理思考力育成の土壌の厚さと豊かさは、国の繁栄の基礎として大切にしなければならぬものです。

その視点において、花まるグループの果たすべき役割は大きいと考えています。そもそも最初に出した本の名が『小3までに育てたい算数脳』(エッセンシャル出版社)であったり、私が算数オリンピックの作問委員や理事をやっていたりしたこともあり、花まるは数理思考力育成の開拓者でありつつあります。

『小3までに育てたい算数脳』で書きたい要点はこうです。計算力はきちんと押さえるべ

新刊情報

『角川まんが科学シリーズ

探究! まほう学園 自然と生き物のヒミツ』



マキ ストーリー
ドリームファーム まんが
川幡 智佳 監修
(KADOKAWA)

「理科への興味」と「探究力」が育つ! 子どもが夢中になる魔法使いの物語で、理科の知識が自然と身につきます。すぐできる「探究学習」のコツも満載。花まる学習会・スクールF.Cの川幡智佳が監修した、現代社会を生き抜くうえで必要な探究の力が学べる1冊です。

『中学受験の意義 私たちはこう考えた』



佐藤 亮子/安浪 京子 著
(朝日新聞出版)

わが子に中学受験をさせるべきか、悩んでいる方に参考になる1冊。この分野のいまや第一人者である安浪京子氏が、佐藤亮子氏と対談する形で提示している。親としての決断のあと押しをしてくれるだろう。

高濱の本棚

きですが、所詮「作業力」にすぎない。本当の頭の良さはまったく別だということで、

①見える力(補助線や立体の裏側が見える力、要点や本質が見える力)

②詰める力(論理的にバグやモレなく考え詰める力、最後までやり切る力)

に着目し、なぞべーという問題群を創造しました。これはのちに「弟子」である川島慶によって、「Think Think」や「ワンダーボックス」等に発展していきました。

花まる学習会では途中から「学力の両輪」としての「国語力(漢字・語彙力・読解力・表現力)」の大事さにも気づき、国語力育成のプログラムも増えましたが、授業内で数理解の余力が溢れる猛者候補の子たちに向けて、レインボータイムという独自の学力傾斜型の高難度思考力問題群も開発してきまし

た。

スクールFCもそうです。早くも15年前になりますが、初めてテレビに出たのが「情熱大陸」(毎日放送)でした。そのとき、雪国スクールや講演会など多面的に取材してもらえたのですが、メインは授業。当時スクールFCで私がやっていた中3の「スーパー数学」と小4向けの「特算(特別算数の青空授業)」はかなりの時間を割いて放映してくださいました。そのとき「主役」として取材された中3のNくんは、いま医師として活躍しています、小4の「特算」で公園の電柱の高さを測定すべく葉っぱを3回折って45度の角度を

見つけた男の子たちも、東大や京大の理系に進学し研究に専心しています。

そのときは取材されませんでしたが、総合

力育成の花まる学習会とは別に、25年くらい前に算数オリンピック委員会と共同で、「アルゴクラブ」という数理解思考力育成の専門教室も開発しました。卒業生インタビューを読まれている方はご存じの通り、花まる学習会とアルゴクラブの併用生には、のちの東大生や医学部生が多いのですが、ある意味当然と

いうのが数理解思考力に特化した教室の効果が出ているのだと思います。

そして現在、もともとのグループ一番の強みである数理解思考力について、レベルアップしていこうと考えています。アルゴクラブ・シンクシンク等の良いところ・上澄みを残し、敬愛する「いもいも」の井本陽久先生のご協力も得ながら世界初の思考力問題群を取り入れて、最新鋭の数理解思考力授業としてバージョンアップし、来年度から世に問うことにしました。思考力講座「算数脳ラボ(略称:算ラボ)」です。ご期待ください。

ちなみに、ご家庭ではどう伸ばせばよいかは、『小3までに育てたい算数脳』や『本当に頭がいい子の育て方』(ダイヤモンド社)等の著書群を読んでいただくが私の講演を聞いていただくのが良いとは思いますが、簡潔に書いておきます。

要点をまとめると、

①迷路にはじまるパズルやなぞなぞ群を楽しむ、やめられない子に育てる。

②囲碁やアルゴ、将棋等の高度な数理解思考を伴うボードゲームを楽しみ夢中になる子に育てる。

③パズルのなかの一手やアルゴの一手について「論理的で過不足のない説明」ができる子に育てる(どちらかと言うと父親が得意な領域)。

④トランプ程度の遊びでも負けると泣いて悔しがるような子は伸びる素質あり。

⑤毎日決まった時間に宿題や漢字練習をするというような「習慣の力」を育てる。

⑥自然のなかの外遊びを存分にさせる。

⑦算数オリンピックや富山県児童生徒思考大会の問題のような思考力問題群を大好きで楽しむ子に育てる。

⑧親が思考力問題(レインボータイム・Sなぞべー・算数オリンピック問題)や囲碁、アルゴを楽しんで解く姿を見せる。

誰も先を見通せない技術革新と変貌の時代。わが子にはどんな時代になっても芯となるリパワーとなる数理解思考力を育ててあげたいですね。

花まる学習会 高濱正伸

算数脳ラボの紹介は次のページで

新年度募集のお知らせ

まもなく全エリアで
申込受付スタート!

友人紹介 キャンペーンも 実施中!!

ぜひお友達をご紹介ください!
ご紹介いただいた方が
期間中に入会登録をすると
双方にご紹介特典を呈します。
※詳細は、11/1(土)にお送りしている
Comiru「お知らせ」をご覧ください。

花まるだより 2025年11月号
(令和7年11月15日発行)

編集・発行 株式会社こうゆう
花まる学習会
発行人 高濱正伸
企画・編集 久慈菜津紀
編集 井坂敦子・金井彩・清田奈南
坂田翔・高橋奈穂
デザイン 春日梨沙・西野奈布子
印刷 アークランド株式会社



全国の花まる教室長、約150人まるっと一年かけて高濱が直接インタビュー! 高濱による他已紹介「タカタコ」で、みなさんの教室長を紹介します。今年のテーマは、「私の極み」! 本気で挑んだこと、情熱をもって取り組んだことから、教室長一人ひとりを深掘りしちゃいます。サマースクールや雪国スクールで会ったリーダーたちも探してみてくださいね!

2026年
4月
スタート!

あそびとしか思えないなかで算数脳を鍛える

新・思考力講座 算数脳ラボ

12月中旬に
申込開始!



年長コース

1~3年生コース

4~6年生コース

算数脳[®]とは

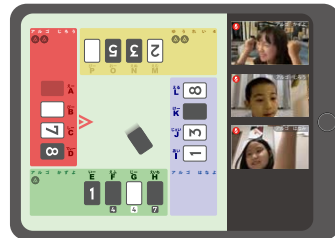
図形や数量をイメージできる・補助線が思い浮かぶ「見える力」、筋の通った論理的な思考を漏れなく意志を持ってやり抜く「詰める力」、考え方を柔軟に変え、別解探しを楽しめる「あそぶ力」。「思考の壁」を突破するのに必要なこれらの力を「算数脳」と呼んでいます。

対面



目の前の仲間と真剣勝負! 緊張感のある雰囲気の中で思考体験を積み重ねます。

オンライン

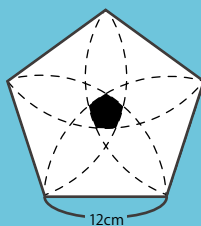


独自開発のオンライン授業システムをフル活用し、対面と同じように思考体験に没頭できます。

見える力

- ・試行錯誤力
- ・発見力
- ・空間認識力
- ・図形センス

「見える力」とは、図形の補助線がパッと浮かんだり、立体を頭のなかで想像したりするなど、「現実には見えていない部分」まで見渡す力のことです。



[図形センス] 正五角形に、点線模様が描かれています。中央にある、5本の曲線に囲まれた黒い部分の周囲の長さは? 点線はすべての頂点を中心にして描いた半径12cmの円弧です。

試行錯誤力

手を動かして試し、失敗からヒントを得て問題を解決しようとする力。

発見力

知識や過去の経験にとらわれず、大胆な発想や独創的な考えを生み出す力。

空間認識力

紙の上に描かれた図を、立体として思い浮かべられるように、頭のなかで自由自在に動かすことができる力。

図形センス

図形問題を見て、描かれていない補助線を思い描くように、見えないものが見える力。

小2から高3までサッカー少女でした。高2の秋、キャプテンに任命されて張り切っていた矢先に足首を断裂骨折。夢と現実のギャップに直面してまさに絶望し、車で迎えに来た母がかける言葉がないくらい号泣し続けていました。手術は成功してリハビリの期間を過ごし半年後によりやく復帰。どん底の気持ちを経験したおかげで、いまは何があってもへこたれない強さを得ました。 | 宮崎ウィング香純



数理思考力を身につけるための一番の近道は、難しい問題が解けた喜びや、心からおもしろいと感じる体験を得ることです。「あっ、わかつちゃった!」とひらめく快感を知ると、また問題を解きたくてたまらないという感情がこみあげてくる。単純に「早く正解を出すこと」だけが求められる場所では、決して味わうことのできない感覚です。私はこれを“わかつちゃった体験”と呼んでいます。そういう体験を積み上げた子は、自分で考えることが大好きになります。自分で考えないとおもしろくないので、絶対に人には教えてもらいたくない、「ヒントなんて絶対に言わないで!」という人になるのです。花まると算数脳ラボで、将来差がつく数理思考力を伸ばしていきましょう。

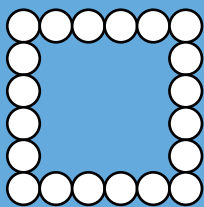
高濱 正伸

俯瞰

全体像をとらえて状況を把握し、常に最善の手を考えて**自分のこだわりから離れられる柔軟さ**。

別解

一つ答えが見つかったことに満足せず、**ほかの答えや考え方を見つけることを楽しめる力**。



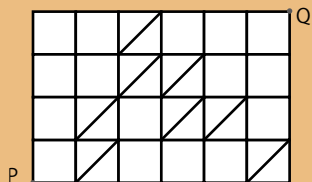
[別解] 次の○を数える式を、思い浮かぶだけ書きましょう。

「あそぶ力」とは、ものごとをガチガチに決めつけないで、「柔軟な思考力を持っていること」であり、考え方の「ゆとり幅」のことです。

あそぶ

・俯瞰
・別解

[論理性・意志の力] PからQまで行く、最短のルートは何通りありますか。



「詰める力」とは、筋道を立てて最後まで考え続ける集中力であり、ものごとをとことん突き詰めて「答えを出し切る力」のことです。

詰める力

・精読力・論理性
・要約力・意志の力

精読力

一字一句読み落とさず、集中して正確に読みきる力。

論理性

解答に至るまでのアプローチを、順序よく情報整理し、筋道立てて考えることができる力。

要約力

「要するに何を言いたいのか」をいつも意識し、**相手の言いたいことがわかる力**。

意志の力

答えにたどりつくためにあきらめず、やる気をもって**自分で解くことにこだわる力**。



こん げっ

今月のレインボータイム

はし はし
【端から橋まで】

スタートからゴールまで、石から石へ橋をかけながら進みましょう。

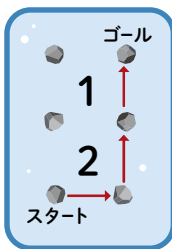
- いち どとお いし とお
・一度通った石は通れません。
- はし なな
・橋を斜めにかけることはできません。
- すうじ
・数字は、そのまわりにある橋の数をあらわしています。



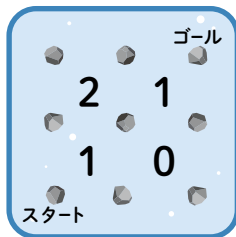
解説は
みずぐち れい

出題：水口 玲
(しえふ)
はな がくしゅうかい
(花まる学習会)

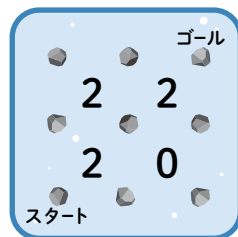
れい



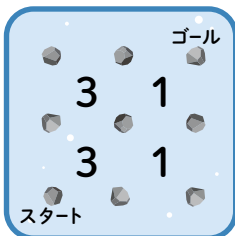
レベル1



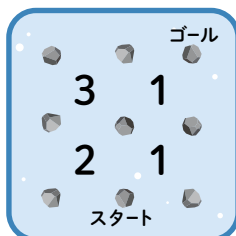
レベル5



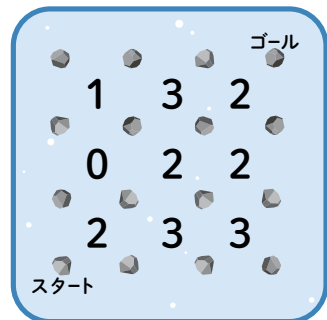
レベル10



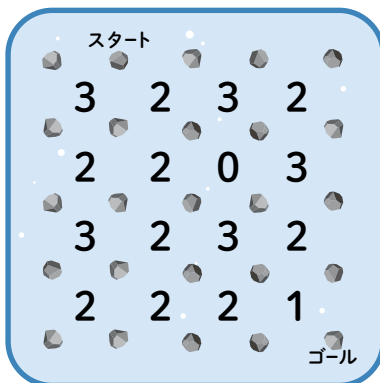
レベル20



レベル30

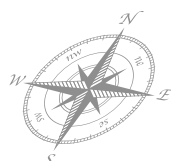


レベル50



今どうしてる？

卒業生物語



花まる学習会・スクールFC卒業生のその後に迫ります。
第32弾は、中学受験での学校の選び方が印象的だった、
伝説の卒業生にインタビュー！

ようこそ

先輩!!



向井 真子さん

【花まる学習会】浦和つくし幼稚園教室 (小1～小4)
【スクールFC】南浦和校 (小5～小6)
*担当教室長：高濱正伸、仁木耕平、島田直哉 ほか
【進路】山脇学園中学校→山脇学園高等学校→一橋大学
【現在】会社員



向 本当は商社に就職したかったんです。商社で働いている方々の人間性やバイタリティ、社交性のすばらしさにあこがれて一緒に働きたいと思って。

高 商社にいたる人や商社出身の人はみんなレベルが高いなあ。

向 いまの職場で実力をつけられ、まだチャンスはあると思っています。

高 あるよ、あるよ。そのアグレッシブに世界を見る目はどこで磨いたの？

向 小学生時代……だと思っています。

高 おとなしく恥ずかしがりやで真面目、という印象が強かったけれど、幼い頃からそんな視点をもっていたのか。

向 小さい頃から負けず嫌いでした。サマースクールや雪国スクールでのお楽しみ会のように、みんなの前で出し物をするのは恥ずかしくて苦手だったのですが……。花まるの授業では、どの課題も、誰よりも早く解き終えたいと頑張っていました。

高 生まれながらに芯が強いんだね。

■花まるの思い出

高 花まるの授業で印象に残っていることはある？

向 「四字熟語」です。中学受験対策など、その後の勉強のさまざまな場面で知っている四字熟語が出てきたので、自信をもって

取り組みました。国語に限らず、一つできると次のステージが広がっていく、そんな勉強の楽しさを教えていただきました。

高 嬉しいなあ。

■お母さんのこと

高 お母さんはどんな人ですか？

向 反抗期もありもちろん叱られることもありましたが、母は私が頑張り過ぎてしまうのを心配してくれていた印象が強いです。母に学校や塾の成績を見せてと言われたことは一度もなく、すべて自分で決めて頑張っていました。

高 それはすごいなあ！ 社会で大活躍している人からよく「幼少期に自己決定をたくさんさせてもらった」と聞くけれど、親が口出しせずにわが子に自己決定させるって、なかなかできることじゃないんだよ。中学受験のときもそうだったの？

向 母は私の成績や偏差値にとらわれずに、私に合った学校探しを手伝ってくれました。学校の文化に溶け込み私らしく成長できるかどうかを重視してくれたんです。中学受験の結果、山脇学園より偏差値の高い学校にも合格したのですが、最終的に偏差値ではない部分で山脇を選びました。中高時代に成績上位をキープしつつ、学園内の表彰で「高嶺賞」を何度もいただいた

のは、部活動に力を注ぎながらも自己肯定感をもって勉強に取り組めたからだと思うので、母の判断はすごいなと思います。

高 特色や文化を重視しての学校選びが大成功して、真子のさらなる成長をあと押ししたという。さすがだなあ。

向 ありがとうございます！



お父さんのことや学生時代のことなど、
続きはこちら！



親子ともに釣りは初めての体験で、釣具の準備の仕方から教えていただき大変楽しかったです。夜におこった「お魚カルタ」も印象的だったので、帰ってからお気に入りの魚や旅館の絵を描いていました。家族以外の大人に遊んでもらったり、新しいお友達をつったりする機会がなかなかないので、子どもがたくさんの人とかかわれるのはとてもありがたい体験です。先生方の巻き込み力が素晴らしく、親子でほかのご家族と一緒に遊び尽くすことができたので、楽しい夏の思い出になりました。掲示板にまとめてくださった写真つきの記録も、サマースクール後に読み返して余韻を楽しんでいます。今回の親子コース開催にあたってご尽力くださり本当にありがとうございました。また野外体験に参加したいと思います。

わが子の 成長を 見届けて

サマースクールで、普段の生活では得られない経験をした子どもたちの成長や笑顔は、保護者の方にとっても大きな感動だったようです。保護者のみなさまからの声をご紹介します。



今回、初めて魚を自分で捕まえ、さばき、食べるという体験をした息子。「目がキラキラして、鱗がキラキラでかわかった。食べたらおいしかった」と興奮気味に話してくれました。翌日、カマスを買ってきて塩焼きにしました。一緒に塩を振りながら「魚の心臓って小さいんだよ。小さい心臓で一生懸命川を泳いでいたんだよ」と教えてくれました。食事を終えたあと、カマスの骨に向かって手を合わせて真剣な顔で「ありがとう」と言う息子を見て心の成長を感じ、胸が熱くなりました。実際にその命と向き合うことで初めて、命をいただくということに対して生まれた感情があったようです。サマースクールの先生方、スタッフの方々、暑いなかで指導いただき、また、子どもたちの安全と成長を見守ってくださりありがとうございました。また来年もぜひ参加させたいと思います。

本人の承諾を得ないまま参加を申し込みました。申し込み前に「楽しそうだよ、行ってみない？」と話していましたが「絶対に行かない」と宣言されていて、参加が決まった際には勝手に申し込まれたと泣いて怒っていました。「ママも最初から最後まで同行できるよう先生に聞いて」と言ってみたり、「不安で頭がいっぱいな」と泣いたり、まさに出発前からサマースクールは始まっていました。出発2週間前になると「校庭の砂の一粒分くらいは楽しみ」と話すようになり、出発当日も不安と緊張でいっぱいの顔でしたが、掲示板の写真には楽しさがあふれていました。解散場所に戻ってきた娘は、充実した4日間だったことがじわじわ伝わる良い顔をしていて、帰り道も水遊びやカレー作り、仲良くなったお友達のこと、クワガタ体操など、たくさん話をしてくれました。今回の体験は何にも代えられない大きな経験になったと思います。大変お世話になりました。ありがとうございました。



今回が3回目の野外体験。去年から「高濱先生に直接会って感謝の気持ちを伝えたいから修学旅行に行く！」と言いはじめ、必ず行けるとは限らないし……と母は不安でしたが、無事に参加が決まったときは「夢が叶ったー！」と大喜びでした。思春期に入って自分と向き合う時間も増えてきたなあと感じていたなかでの今回の修学旅行は、娘にとって本当に大切な時間になったようです。また、ずっと夢だった高濱先生にお手紙を渡す場面では泣いたと聞いて、娘の本気の想いを感じ、本当によかったね、となんだか私も感動して涙してしまいました。学校やほかの習い事の体験とはまったく異なる花まるの野外体験。毎回の掲示板を見ても、先生方の熱意や子どもたちへの想いがひしひしと伝わってきて、この特別な時間を大人も本気になって作り上げていこうとする様子にいつも感動しています。「次は高校生リーダーとして絶対に参加したい」と言っているのも、また先生方とともに過ごす時間を楽しみにしています。本当にありがとうございました。

コース 火おこしの国 小2・女子 保護者

昨年の初参加に続き2度目の参加。今年も大きくたくましくなって帰ってきました！今回のもっとも嬉しい成長は「諦めずに挑戦しつづけたこと」です。リーダーからの申し送り、火おこしの際になかなか上手くいかないなか果敢に挑戦していたという様子を聞いて感動しました。火おこしの過程で指を地面に擦りつけてしまっって小さな擦り傷ができたけれど、2回目の挑戦もしたそうです。傷に敏感で痛がりなのでびっくり！なぜかと理由を聞いてみたら、「最後まで挑戦しつづけるとみんなで決めたから」とのこと。知らぬうちにそんな精神が育っていたことに改めて感動しました。来年はどんな経験をしてくるのか、心が大きく成長する旅をいまから楽しみにしています。



コース サムライの国 小2・男子 保護者

出発が近づくにつれ「2泊もするのこわい～」とテンションが低くなり、予想通り集合場所の東京駅で泣いてしまいました。掲示板を見つめながら無事を願っていた3日間。丁寧に更新してくださった掲示板の情報や、インスタライブの動画がとても嬉しかったです。どんな顔をして帰ってくるのか心配でしたが、重い荷物を自分で背負って一列に歩く姿には感動しました。帰宅後はサムライ合戦での出来事をたくさん話してくれました。いただいたサイン入りの刀を眺めては、宝物みたいに大切にしています。我慢も寂しさもあったと思いますが、素晴らしい時間を過ごせたようです。支えてくださったリーダーをはじめ、スタッフのみなさま、本当にありがとうございました！



コース 親子で無人島サマースクール 小4・女子 保護者

何よりリーダーのみなさんの、子どもへのかかわり方に感銘を受けました。必要な説明をして子どもに考えさせる余白を与えつつ、手を出すのではなくアドバイスを小出しにして出す。決してせかさず最後まで見届ける。そのかかわり方が素晴らしいと思え、無人島での時間は私たちもそれをする余裕があったので、真似をしながら実践することができました。いつもポジティブな言葉かけをすること、先生方が何でも楽しむこと、挑戦することを背中で見せてくださるのが素敵だと思いました。無人島サマースクールは、親にとっても学び多き時間になりました。期間中、私たちの見えないところで表に裏にたくさんたくさんサポートしていただき、本当に感謝しております。娘も、無人島で過ごしたという経験やテントをたてる際に率先して動けたことで自信をつけた様子でした。素敵な体験をありがとうございました！



次の申し込みは！

※募集スタートは1月上旬を予定しています。

年長～中学生
雪国スクール

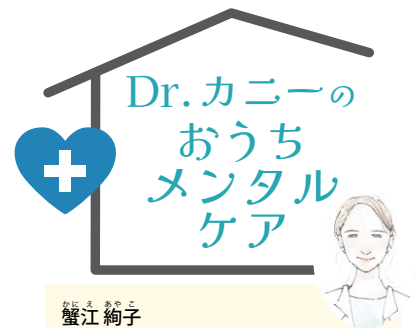
現6年生限定
卒業記念の無人島



8 ※スキーは小学生以上



誰かにももらったお金（臨時収入）で友達にお菓子やジュースをおごったり、その逆だったり……ということが増えました。しかも「親にはナイショ」とされてしまうと把握できず困っています。叱られるとわかっているのにやってしまう心理は理解できるのですが、それが見えなくてずっと続いていくといつかトラブルになりそうで怖いです。特に金銭が絡むものはお友達の親御さんとの関係にもかかわるので、どのような伝え方がいいのか教えてください。



蟹江 絢子

東京の大学病院にて児童精神科医として臨床に携わる傍ら、妊産婦やアスリート、神経発達症、精神疾患を対象とした認知行動療法の研究を行う。VRやアプリを活用した認知行動療法のプログラム開発にも取り組み、精神医学・心理学の啓蒙活動として一般の方や教育業界向けに展開。二児の母としての経験も活かし、親としての目線で日々の生活や子育てに役立つ情報を発信中。

「友達とお金のやりとり」をどう見守るか

小学校高学年になると、友達とのかかわりのなかでおごったりおごられたりといったお金のやりとりが出てきます。また、親に内緒にすることも上手になっていきます。仲間関係や健全な金銭感覚を育てるために、どのような声かけや話し合いがよいのかのヒントをお届けします。



子どもにとって仲間関係は自己理解や他者理解を深める大切な場です。「一切禁止」とするのではなく、試行錯誤させつつ、未熟な部分を親が補い、時代や年代に合ったルールを設定することが大切です。

「内緒」にできるのも成長

子どもが嘘をついたり秘密をもったりすると親は不安になりますが、「嘘をつける」「秘密を守る」のは発達証です。嘘をつくには「相手は何を知っていて、何を知らないのか」を理解する“心の理論”が必要で、それに基づいて工夫する必要があります。内緒にできるということは「自分や仲間の世界」と「親や大人の世界」を区別し、「言わないと決めたことを守り抜ける」という成長の表れでもあります。確かに親から「叱られないように」といった知恵が働いている場合もあります。

今回は、トラブルに発展しそうで心配ということですが、おおらかに構えていい場合は「あ、この子も秘密をもてるようになったんだな」という気持ちで見守っていいと思います。

「お金のやりとり」について話す

親としては、お金のやりとりがあったら報告してもらえるように伝えることが大切です。たとえば、

☑「おごったとき、どんな状況だったの？」

☑「おごられたときはどうだった？」

交互だったり小さなごほうび程度なら問題ないかもしれませんが、高額だったり片方ばかりが負担している場合は不公平感が生じます。さらに相手の親が状況を把握しているかどうか也很重要です。低学年では全面禁止にする家庭が多いようですが、高学年になると家庭によって考え方が分かります。だからこそ、親として「お金のやりとりは大人でもトラブルになりやすいから、どのような状況だったのか話をしてほしい」と伝えておくといいでしょう。

「お金のルール」をどう決めるか

もし禁止にしたい場合は「お金のやりとりはなし」と家庭のルールを明確にしましょう。そのうえで相手の親とも話し合い、必要なら返金するなど対応を決めておくことで安心です。

相手の親とお金のことについて話し合えないのに、そして子どもがお金のやりとりをしていることを知っているのに、「お金のやりとりは禁止」と言ってしまうのは、子どもがますます親に報告しなくなったり、トラブルがおきたあと一人で抱え込んでしまったりする原因にもなります。また、思春期は、親の言うことを聞くべきか、仲間関係を大切にすべきかと葛藤しながら、すべて親の言うことを聞くのではなく、自分の意見をもっていく時期です。そのときに、親は「お金のやりとりは禁止」と言っていて、仲間と子どもは「お金のやりとりをしたい」と思っている場合、さらなる葛藤を生むことになります。

試行錯誤しながら取り組む

金銭感覚は子どもの発達段階や時代背景によっても変わります。報告を促しつつ見守る、相手の親と連携してルールを決める、うまくいかなければ修正する。そんな柔軟なかかわりが重要ではないかと思います。



こころと頭を
同時に伸ばす
幼児期の子育て

Rinコラム

73

人として敬う

「根性があり、自分が決めたことはやり通す人です」

5歳の子どもの形容したこの言葉を聞いて、みなさんはどんなことを思い浮かべますか？ 幼いながらも、その子らしさがすでに芽を出しているように感じられますね。そしてきつこのあとには、「でも、こんなところもあるんです」と続けるだろうと想像する方もいるでしょう。

実のところ、どちらも正解です。

この言葉は、私が幼稚園の年長の頃、担任だった中田先生からいただいたものです。当時の私は、超がつく人見知りで、しゃべらない子どもでしたが、なぜか中田先生の前では心を開くことができました。

なぜ先生にだけ心を許せたのか——。その理由が腑に落ちたのは、ずっとあとになってからでした。母が大切に保管していた、当時の連絡帳を読み返したときのことです。

個性的であまり話さず、ちょっぴり落ち着きすぎて見えたゆみちゃん。いまは私の手にしがみついてくれます。そして、さみしくしている子に優しくしてくれます。私、本当に嬉しかったんです。あのとき、ゆみちゃんがいてくれなかったら、もっととくくんを苦しめているにさせていたのではないかと思います。

母のページにも、その日のことが書かれていました。

いつだったか、幼稚園から帰るなりたいたいとも言わず「ママ、中田先生が喜んでくれてん、ありがと、嬉しいわってゆってくれはってん（言ってくださった）」と興奮して言ったことがありました。そのときのあの喜びに満ちた表情を私はいまも忘れられません。どんな賞賛よりも嬉しかったでしょう。“親切やさしさ”を言葉で教えられるより、“体験として、喜びとして学ぶ”ことができたのです。

子どもの頃、大人から褒められることはあっても、それはあくまで「子どもよりも偉い大人から」の「評価の言葉」で、それはそれでイヤなものではありませんでしたが、そこに「尊敬」という響きはありませんでした。

大人は、子どもよりも長く生きていて、知識も経験もある。だからつい無意識に「子どもよりも偉い」と思ってしまうがちです。

けれど中田先生は、ちがいました。年齢や

立場に関係なく、一人の人として私を見つけてくれた。考え方や行動のなかに良きものを感じ取れば、大人に対するときと同じように、敬意をもって接してくれたのだと思います。私はその姿勢に、幼いながらも深く反応していたのでしょう。

花まるの年中コースや小学生の作文、Atelier for KIDSでのアートを通した教育でも、作品や表現のなかに光る「その子らしさのタネ」を見つめ、それを言葉にして伝えることを大切にしています。

目の前にいる子どもたちは、きつと私を超えて、立派な人になっていく。そう信じて、尊敬の思いをもって向き合つて、自然とその子の素晴らしい面がたくさん見えてきます。

そして、それを伝えたくなるのです。かつて中田先生が、私の母にそうしてくれたように。

5歳の私が出会った中田先生と過ごした日々。あの一年間が教育者としてのいまの私につながっている。そのことに、不思議な運命のようなものを感じずにはいられません。

「人として敬う」という姿勢を、本当に大切なこととして、先生のなかに見ていたように思えるのです。

Rin (井岡由実)

12月のAtelier for KIDS



旅をするBOX クリスマス編



お申し込みは
こちら！

申込締切
12/3(水)
19:00

対面クラス

12/14(日)10:30~12:00

◎お茶の水花まるラウンジ

対象 年長~中学生
定員 30名(予定)
参加費 1名3,850円(税込)

おうちアトリエクラス

素材セットとおたよりがご自宅に届き、お好きなタイミングで制作をします。LINE公式アカウントのやりとりにて、Rinせんせいから監賞の言葉をもらえます。

詳しくはHPをご覧ください。

参加費 1名3,300円(送料・税込)



今月のARTレシピ



『立体折り紙オーナメント』

折り紙を折って切って、立体的なオーナメントに仕上げるレシピです。大小さまざまな折り紙とはさみとのりがあれば、たくさんつくってそのつなげ方によってもまた違った作品に仕上がります。同じものをいくつかつくることで、試行錯誤し、よりやりやすい方法や段取りに気がついたり、お手伝いを継続するのと同じ「工夫する力」が自然と育まれます。それは、「おもしろい」「やってみたい」「もっとこうしたらどうなるだろう？」という主体的な心の動き(遊び)のなかでこそ伸びる力とも言えますよね。

このほかにも、立体的な星の形をつくる動画もありますよ。

クリスマスの飾りとしてもおすすめです。

Rinせんせいが
つくってみたよ！



じゅんぶするもの

・折り紙 ・はさみ ・のり

つくり方を
動画で見よう



花まる教室長がお届けする
子育て奮闘記

花まるリビング

51

勝谷 里美

花まる学習会の教室長を担当しながら、花まる学習会や公立小学校向けの教材開発や、書籍出版に携わる。現在は、小5・小3・年少の母として子育てに奮闘中。著書に『東大脳ドリルこくこ伝える力編』『東大脳ドリルかんじ初級』『東大脳ドリルさんず初級』（学研プラス）ほか



母業、10年を超えて思うこと

高学年対応「行間を読む」

最後とは知らぬ最後が過ぎてゆく

その連続と思う子育て

俵万智『未来のサイズ』（角川書店）

長女Mが11歳を過ぎ、この短歌に共感する場面が増えてきました。

一年程前から、M（小5）は自分の部屋で宿題をするように。リビングでべちゃくちや話しながらやっていたMに対して「集中すれば早く終わるのに！」とイライラしていた時間は、気づけばなくなっていました。

そんなある日、Mがめずらしく声をかけてきました。

「んー、どうしよっかなあ。今日は宿題、リビングと自分の部屋のどっちでやったらいいと思う？」

私は「どっちでもいいよ。リビングは弟妹がいて騒がしいけれど、気にならないければ机を片づけるよ」と答えました。正直、本当に「どっちでもいい」気持ちだったのですが、Mは煮え切らない様子。最終的に「リビングでやる！」と宿題を持ってきて、相変わらずおしゃべりしながら手を動かしていました。

その日の夜、ふと気づいたのです。

「あのとき求められていたのは、『どっちでもいいよ』という返答じゃなくて、『お母さんが寂しいから、たまにはリビングで一緒にやろうよ』だったのかも」と。

行間を読めていなかった……。素直さが影を潜めてくる高学年、思春期。手を放す時期ではあるけれど、「もう手離した」と決めつけず、その日の小さなサインを丁寧に観察する。発言は行間を読む。そうやって子どもに向き合いつづけることができたから、「最後とは知らぬ最後が過ぎて」いっても、きつと後悔はなさそうです。

母は自分の怒りを

なかったことにしがち？

ある朝、長女Mと大げんか。Mはフイツと登校し、私はイライラを抱えたまま出勤しました。途中で立ち寄ったコンビニで、Mが「おいしいからまた食べたい！」と言っていたアサイーボウルを発見。無意識のうちにかごに入れ、レジへ。

そのときふと気づいたのです。——こんなに腹を立てているのに、子どもの好物を見つけるとつい買ってしまう母の習性。

「やっぱり家族っていいな」と、まとめたわけではありません。もちろん、その側面もありますが、それ以上に書き留めておきたかったのは、母は無意識に、自分の怒りを「なかったことにする」ことが多いのではないかと気づきました。そしてそれが続く、いつか爆発してしまう……。過去11年、母業をやってきた自分の経験をふまえて、そう感じます。

怒りという感情に対して、「ごだわりを捨てて、ざらりと受け流す」ことも大切。でも同時に「怒りを感じた」という事実を認めることも大事だと思います。怒りは、自分のなかに譲れない何かがあった証拠。その気持ちを消さなくてもいい。

怒り続けるのは自分もとてもしんどいので、何が譲れなかったのか、言葉にしてみる。

・必要なら子どもに伝える、必要ないと判断したら伝えなくてもいい、自分で決める

・自分の気持ちをいたわる

自分の感情をそのように扱えるといい気がします。

子どもの好物を無意識に買うのであれば、自分の好物は意識的に買って甘やかしてあげる。好きなものや好きなことにたくさん触れて、甘やかしてあげてもいい。ただ「なかったことにする」だけはしないでほしい……。過去の私に、そしていま現在子育てに奮闘している多くのお母さんに、伝えたいメッセージです。



『カラーモンスター
きもちは なににいろ？』
アナ・レナス 著
おおともたけし 訳
(永岡書店)

子ども自身が、楽しく自分の「感情」に向き合える楽しい1冊。うれしい、かなしい、いかり、ふあん、おだやか、といった色のモンスターが出てきます。同じシリーズにはポップアップバージョンや塗り絵バージョンも。読んだあとに、いろいろのツールを使って、親子でお絵描きなどを楽しくてもいいですね。



Dr. カニーの
おうちメンタルケア入門 第1回
『こころのコンディショニングって何？』

花まる子育てカレッジで配信している、代表高濱と精神科医・研究者・開発者の蟹江鈞子氏（Dr. カニー）との対談「Dr. カニーのおうちメンタルケア入門」シリーズ。「こころのコンディショニングって何？」「感情の問題に対応する一歩みイライラ」など、1テーマ30分で学べます。子どもの感情だけでなく、自分自身の感情に対する気づきも多いです。



感情と向き合う

Kazuaki
鈴木 和明
(シドニー)
Suzuki

眼差し

シドニーの自由研究②

今年5歳になった息子は、最近、話しかける際は枕に必ず「パパ見て?」「パパ聞いて?」をつけてきます。ちゃんと自分のほうを見ているか、聞こえているのかもチェックして、見ていないと感じると「パパ見て?」が再び出てきます。

「見てもらえていない」「聞いてもらえていない」と感じさせてしまっているのかなと気になっていたのですが、改めて花まるの現場に出ると、「先生見てー!」「先生聞いてー!」がたくさん飛び交っていることに気づきました。

息子は別に満たされていないわけではなく、「見てほしい」「聞いてほしい」という気持ちにより強くなる時期に入ったということ。花まるの子どもたちも同様です。だからこそ、彼らから「見て」「聞いて」というサインが出てきたら、丁寧に向き合って、見る(聞く)

姿勢をとらねばと意識している今日この頃です。

さて、そんな息子が通うことも園では、園の近くにあるスポーツクラブと契約し、そこで体操やスイミングをおこなっています。年中クラスに進級した息子も、春から月2回ペースでスイミングがスタート。それまでお風呂を除き、水のなかに入る機会がほとんどなかったため、スイミングを始めて泳ぐことに興味をもってくれたらと願っていたのですが、彼のスイミングデビューは苦い思い出となりました。

いつも帰宅後に夕食を食べながら一日の出来事や思い出を話すが、その日はスイミングについてほとんどコメントしない息子。初めてのことや環境に対してすごく慎重になる子なので、回を重ねれば徐々に慣れてスイミングの話題も増えてくるかなとそのときは楽観していました。

しかし、2日後の夜、息子から「次のスイミングは行きたくない、見ていてほしい」と切実にお願いをされたとき妻から聞きました。何度も念を押すように言ってくるということは、よほどいやなのでしょう。次の日、連絡帳にそのことを書き、園の先生からスイミングのときの息子の様子を教えてもらいました。副担任の先生と妻が電話で話したのですが、そこで聞いた内容が「鼻に水が入っちゃって、それがトラウマになったのかもしれないもん……」でした。

鼻に水が入ったら痛くて泣くのは当たり前。泣かなくとも、水に慣れていない子どもなら

パニックになると思います。息子が水に対する恐怖心を抱えたまま過ごしていた数日のことを思うと、やりきれない気持ちになってしまいました。

2週間ぶり2回目のスイミングはどうするのか。決して無理強いはいしと夫婦で決めたので、最終判断は息子に委ねました。葛藤はいろいろあったと思うのですが、彼が最後にくだした決断は「スイミングに参加せず園に残る」でした。ほかにもそういう子がいたのかもしれないが、もし息子だけがスイミングに行かなかったなんてことを知ってしまったら心がざわつくと思う、何も聞かないでおきました。知らないほうがいいことだっただけ。焦らず、少しずつ前進していけばいい。そう自分の心に言い聞かせ、息子を見守りました。

5月と6月のスイミングは体調不良で休んだ日もあったのですが、2回参加することができました。「できるところまで大丈夫」と園の先生に言ってもらえたことで安心して休み休み参加したそうです。

ただ、スイミングの週になると数日前から「スイミングに行きたくない、園で待つ」と何度も私たちに言ってきます。少しでも次のスイミングが楽しみになればと思い、家族旅行で屋内プールに行ったり、週末に区民プールに行ったりもしました。

そうして迎えた7月のスイミング。またしても息子の口から出てきた言葉は「スイミングに行かない、園で待つ」でした。この言葉を何度聞いてきたことか。言われるこちらの身にもなってくれよ……と心のなかで思いつ

つ妻と2人で励まします。当日になってもいやだ! 行かない!」と怒り口調で返してくるようになつたので、今回はちょっと無理かもなと思っていました。

夕方、息子を迎えに行った妻からLINEが。何と、スイミングに行けたのです。しかも翌朝、息子に聞くと「何回も潜れた!」「潜るのが楽しくなった!」「スイミングはもうへっちゃら!」と自信満々に話してくれ、驚きました。実は、彼をあと押ししたのは産休から復職した現担任のO先生でした。

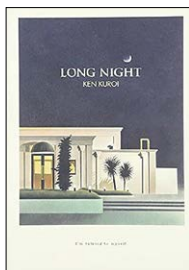
二年前も担任だったO先生に、息子は大きな信頼を寄せています。これまでの状況を聞いたO先生が「〇〇くん(息子)がスイミングで頑張っている姿、見たいな」と1対1で話してくれたそうです。「見てほしい」という気持ちにより強いこの時期に信頼を寄せる先生から「見たい」と言われたら、はりきってしましますよね。

「見たいな」という言葉は、見てほしい子どもからしたらスイッチの入る魔法の言葉なのかもしれません。(あなたの頑張りを「見たい」と心から伝えることで、子どもは安心してチャレンジできることをこの一件から学びました。「見てほしい」という眼差しをこれからも大切にしていきます。

花まる学習会 鈴木和明



～耳をすます
記憶の彼方からの声に～



『LONG NIGHT』

黒井健 作・絵
(瑞雲舎)

「あれは本当にあったことだろうか……？」夜の街を彷徨いながらふと待ち伏せのようによみがえってくる、忘れかけていた記憶。語り手の男の目に

映るのは、レストランやバーの一角、ホテルの一室、街灯に照らされた夜の小巷——。教科書でおなじみ、絵本『手ぶくろを買いに』(偕成社)や『ごんぎつね』(偕成社)など有名な黒井健氏による幻想的なイラストが魅力。大人のための現代絵本ですが、これからの人生を歩む子どもにも鮮烈な印象を与えるであろう一冊。



『怪談』

一こわくて不思議な
10の話

小泉八雲 作

小宮由 選・訳

(アノニマ・スタジオ)

朝ドラ「ばけばけ」で話題、ラフカディオ・ハーンこと小泉八雲による怪談の数々が、新たな翻訳と斬新なイラストで生まれ変わりました。「雪女」や「ろくろ首」、「むじな」などのおなじみの怪談のほか、八雲が妻セツから聞いて綴った日本各地の不思議な話が10話収められています。朗読にも適した翻訳なので、実際に声に出して読んでみると、セツが八雲に語っている様子が目に浮かんでくるかも。



『あまがさ』

やしまたろう 作
(福音館書店)

ニューヨーク生まれのモモが3歳の誕生日にもった雨がさ。「ぼんぼろ ぼんぼろ」と不思議な音を奏でる雨に、モモの心は喜びで満ち溢れます。初めて手をつなずに一人で傘をさして歩いた日の記憶が、美しいイラストで表現されています。作者の八島太郎氏は、戦時中に渡米して絵本を描きつけ、代表作『からすたろう』(偕成社)と『海濱物語』(白泉社)、本作で三度にわたってコールドコット賞(アメリカの年間最高絵本を選ぶ賞)にノミネートされた経歴の持ち主。



『女の子たち風船爆弾をつくる』

小林 エリカ 著

(文藝春秋)

第78回毎日出版文化賞を受賞し、今年の終戦記念日間近にラジオ番組化もされて話題になった一冊。太平洋戦争末期、アメリカ本土攻撃のために極秘に開発された決戦兵器「風船爆弾」を作るために動員されたのは、全国の女学生たちだった——。知られざる歴史のページが、まるで抒情詩のような独特な文体で描かれて非常に印象的。終戦80年の今年、当時を生きた人たちの「声」に耳をすますために是非ひも解いていただきたい一冊。



『奇譚の街』

須美ちゃんは名探偵!?
浅見光彦シリーズ番外

内田康夫財団事務局 著
(光文社文庫)

2時間サスペンスでおなじみ、名探偵浅見光彦の家のお手伝い、吉田須美子を主人公にした異色の「日常の謎」系ミステリーシリーズ。第4巻の本作では、須美ちゃんが商店街で偶然拾ったメモから始まる謎を解き明かすことで、やがてたくさんの人の秘められた思いや記憶が明らかになっていきます。霜降銀座、商店街や王子の飛鳥山、旧古河庭園、旧岩淵水門など、舞台はすべて東京都北区の実在の場所。「北区愛」に満ちた一冊です!



いじりた じょうが
土方 日向
(ソイソイ)

花まる ころも

結ばれて、ほどけて、

小学四年生のときに転校した私は、なにもかもが初めてで緊張しきっていました。休み時間、ボツンと席に座っていると、優しく声をかけてくれたAくん。授業の準備を手伝ってくれたり、休み時間に遊びに誘ってくれたり、一緒に帰ったり……。そんな優しいAくんの存在に安心し、いつも彼と一緒に行動するようになりました。

転校してから一か月ほど経った頃。「ついてこないで!」と突然Aくんに突き放されました。実は、Aくんと仲の良かった子たちが、Aくんと私が一緒にいる時間が長くなったことをよく思わなかったようで、Aくんに対して冷たく当たるようになったとのことでした。

いつも遊んでいる仲良しグループから離れることを嫌い、私とかかわりをもつのを拒んだ、ということ。私は、突

然の出来事に驚き、すぐに悲しさが込み上げてきて、涙を流していました。もちろん、彼自身も複雑な気持ちを抱えていたと思います。帰宅後は、彼に対する申し訳なさを感じるとともに、せつかくできた友達を失ってしまったかもしれないという憂鬱な気持ちを抱くこととなりました。

とはいえ、当時の私の心は幼児そのもの。その出来事はすぐに忘れ、新しく仲良くなった友達と、楽しい日々を過ごすことができていました。

Aくんとは同じ中学校に進学しましたが、そこでも話をすることはありませんでした。彼のことを恨んでいたわけではありませんが、ただ何となく、気まずさだけが残っていました。

月日は流れ、中学三年生。受験シーズンに事件が起きました。昼休みに友達とドッジボールをしていたときのこと。友達が投げたボールを避けるためにジャンプをした私は、着地の瞬間に右足をひねり、ポキッという音とともに地面に倒れました。脛の骨が折れてしまい、全治一年の骨折をしてしまったのです。それまで狙っていた志望校は電車通学が必須だったため、通いやすい近くの高校へと進路を変えざるを得ませんでした。当時の私にとって、とんだ災難でした。どう

してこんな大事な時期に……。 (しかも、ドッジボールで骨折して……)

高校受験、試験当日。門の前まで親に車で送ってもらい、松葉杖をついて校舎に入りました。試験会場は二階だったため、階段を上がらなければなりません。片手で松葉杖を二つ抱え、もう片方の手で手すりをつかむ必要があります。一人で上がることはできませんが、杖をつきながら片足で上るのは一苦勞です。

よし、と気合いを入れたとき、「大丈夫?」と後ろから誰かに声をかけられました。そう、小学四年生以来、話をすることがなかったAくんでした。彼は松葉杖を一つ持ち、一段一段、私の隣をゆっくりと上がってくれたのです。階段を上り切ったとき、急に声をかけられたときの驚きと若干の気まずさは、嬉しさに変わっていました。

偶然にも教室が同じで、試験後も門までサポートしてくれたAくん。同じ高校に入学し、私が松葉杖生活をしている間、毎朝門の前で待ち合わせをしました。彼のおかげで高校生活を楽しく送ることができたといっても、過言ではありません。小学生のときの話をわざわざすることはありませんでしたが、私はあの頃のように一緒に楽しく過ごせていたことを、心から嬉しく思っていました。

子ども同士の関係は、大人の目には見えないところで、ほどけたり、結び直されたりを繰り返しているのかもしれない。うまくいかないこともあれば、心が離れることもある。しかし、子どもたちはそのときどきの気持ちを抱えながらも、自分なりのペースで誰かと「つながり直していく力」を持っているのだと思います。

教室という小さな空間のなかでも、あの週の子どもたち同士の関係性が、次週には少し違った形で始まることもあるでしょう。そういった子どもたちの関係の揺らぎは、心配し過ぎることではなく、むしろ成長の一部としてとらえることもできるかもしれません。

花まる学習会 土方日向

花まるの
教室長を
紹介します!

Hanamaru Family 花まるファミリー

オンライン

アルゴ ...アルゴクラブ

FC ...スクールFC

花まるエレメンタリースクール

無人島

Hanaspo

きょうしつちょう じゅんぱん しょうかい
みんなの教室長も順番に紹介するよ。お楽しみに!



あら い せい たらう
新井 征太郎

埼玉

東京都



い さ ご かん たらう
砂金 幹太郎

千葉

千葉県



い ほん けん た
伊原 健太

関西

大阪府



かわしま こと ね
川島 琴音

埼玉

アルゴ 埼玉県



き ど も も こ
城戸 桃子

東京西



岩手県



さ か ぐ ち と お る
坂口 徹

中京

熊本県



しまむら ゆ か
島村 有香

埼玉

埼玉県



しまもと か り ん
島本 夏凜

神奈川北

神奈川県



す ず き か ず あ き
鈴木 和明

関西

静岡県



と よ だ は じ め
豊田 元

神奈川南

大阪府



な か や ま し ょ う た
中山 翔太

アルゴ



埼玉県



は し も と か ず ま
橋本 一馬

神奈川北

埼玉県



ま え は ら ま さ き
前原 匡樹

オンライン

鹿児島県



み や ぎ き か す み
宮寄 香純

埼玉



東京都



た か は ま ま さ の ぶ
高濱 正伸

○○○

熊本県

..... リーダーネーム

..... 名前

..... 所属

..... 出身地

サマースクールや雪国スクールで会おうね!

11月の誕生花は シクラメン